

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年12月6日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年12月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【富岡消防署立入検査における指摘について】 2023年11月8日に富岡消防署の立入検査が行われ、新事務本館の食堂側階段室に設置している人工観葉植物について、以下の指摘を受けた。 人工観葉植物は可燃性で、火災の際、黒煙を発生するため除去すること。 今後、当該人工観葉植物を除去する。	G II	11月27日
2	【富岡消防署立入検査における指摘について】 2023年11月8日に富岡消防署の立入検査が行われ、大型休憩所3階スタッフ室に設置している合成樹脂製床シートについて、以下の指摘を受けた。 大型休憩所は高層建物であることから、合成樹脂製床シートではなく、防煙性の床シートを使用すること。 当該シートは撤去済み。	G II	11月27日
3	【6号機放水口モニターデータ表記の誤りについて】 原子力規制庁より、緊急時対策支援システムの、6号機放水口モニターデータの表記について、求められている指数表記ではなく、実数表記で伝送されていると連絡があった。 現在、代替処置として、5、6号機放水口北側データを規制庁へ毎日電子メールにて報告している。 今後、表記設定の誤りについて原因調査を実施。	G II	10月10日
4	【所内共通ディーゼル発電機(A)過給器左側冷却水出口フランジ部からの水の滴下について】 当社社員が、点検中の所内共通ディーゼル発電機(A)の、過給器左側冷却水出口フランジ部から、耐圧試験時に1秒に1滴の水の滴下を確認。 耐圧試験を中止し、滴下の停止を確認。 今後、当該フランジ部の点検を実施。	G III	11月30日
5	【東日本大震災以降使用していない機器からの冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、共用プール建屋に設置されている、東日本大震災以降使用していない機器から冷媒の抜き取り作業を実施したところ、6台の機器で冷媒の漏えいを確認。 原因は経年劣化によるものと推定。 冷媒の漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告済み。 なお、東日本大震災以降使用していない機器については、今後も順次、冷媒の抜き取りを実施予定。	G III	12月4日